

「サロンから始まる街づくりの取組み」

多摩市社会福祉協議会 地域福祉推進課 まちづくり推進係
森田一光

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき全国の区市町村に設置された民間の団体です。「地域福祉の推進役」として明記されており、「住民主体の原則」に基づき、全国の地域性に応じた事業展開をしています。

高齢者だけでなく、子供や障がいをお持ちの方など地域のあらゆる人を含めた「安全・安心のまちづくり」を目指しており、そのために地域住民の皆さんと様々な「仕組み」をつくっています。

「ふれあい・いきいきサロン」もその仕組みの一つです。「ふれあい・いきいきサロン」は、平成6年に全国社会福祉協議会が提唱した活動です。全国で58,999箇所ある（平成24年4月現在）と言われています。全国の区市町村社会福祉協議会では、地域性に合わせたサロンづくりと支援をしています。

「ふれあい・いきいきサロン」は、自宅から歩いていける場所に気軽に集い、ふれあいを通して「生きがいつくり」・「仲間づくりの輪」を広げる「地域の居場所」です。

基本的に「ふれあい・いきいきサロン」には、「こうでなければいけない」といった決まり事はありません。また、「サービスを提供する人」「サービスを受ける人」という区別もありません。「気軽に」「自由に」「楽しく」「無理なく」はじめるのが特徴です。また、「地域住民のつながり」、「見守り」、「助け合い」の仕組みづくりの有効的な手段として全国的に広がっています。

活動内容に関しては、集まっておしゃべりをするサロンもあれば、食事会や体操、子育て支援などのプログラムを実施するサロンなど様々です。

多摩市内のサロンは現在58箇所あり、集会所を活用したものが多く、お茶会や食事、地域の学校等と連携するものなど住民が主体になり活動の広がりをみせています。また、高齢者が参加しているサロンが多く、地域包括支援センター等の専門職と連携することにより、地域で介護予防に積極的に取り組んでいるサロンも増えてきました。

一方、サロン活動の課題としては「財源確保」「担い手不足」「参加者の固定化」等があります。サロン活動で大事なことは、地域の人たちが「楽しく参加できること」と、「継続的に活動できる環境をつくること」です。それにより、地域における「人と人のつながり」ができ、参加者の日常生活をお互いに支え合うきっかけになります。また、地域包括支援センターや行政機関など、日常的に多くの専門職に関わってもらうことにより、健康維持や参加者に何か変化があった場合は適切な関係機関につなぐことができます。

サロンが地域にたくさん増えていくことにより、「住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らす」ことにつながっていきます。今後、更なる高齢化をむかえるに当たり、サロンが様々な専門職・専門機関を含め、地域とつながっていくことで、サロンの役割がより一層広がっていくといえます。そのためには、専門職の皆さんを含め、地域でサロン活動をバックアップしていただくことが必要と考えます。

連絡先 多摩市社会福祉協議会
〒206-0032 多摩市南野 3-15-1
多摩市総合福祉センター内 まちづくり推進係
TEL 042-373-5616